

星野リゾート 青森屋 (青森県三沢市)

春のきろかる散歩を楽しむ3つの花道が新登場

青森の伝統工芸品を使用した和のイルミネーション

開催期間：2018年4月6日～5月31日

青森の文化を満喫する宿「星野リゾート 青森屋」では、2018年4月6日から5月31日までの間、敷地内にある公園で「春のきろかる(※)散歩」を実施します。今年は、青森の伝統工芸品を使用し、散策を楽しむための3つの花道が新登場します。ねぶたの山車を作る技法を用いて和傘に花の絵を描いた「和傘の花道」、弘前ねぶたの絵師が描いた「ねぶたの花道」、伝統工芸品「津軽金山焼」を照明に採用した「灯りの花道」で和のイルミネーションを観賞することができます。



職人がひとつひとつ仕上げる青森屋オリジナルの照明

青森の春は肌寒い日々が続いたあと、4月下旬頃にやっと花が咲きはじめます。自然の花が咲くまでの間も、青森の伝統工芸品で春を感じられるように、りんごの花を描いた和傘や花柄の灯籠など青森屋オリジナルの照明を公園内に設置します。

1、和傘の花道

和傘には、ねぶたの山車を作る際の「蠟引き(ろうびき)」という技法を用いたりんごの花を描いています。蠟の部分から光が透き通ることで、描かれた絵の色がより目立ちます。

2、ねぶたの花道

弘前ねぶたの絵師がひとつひとつ描いた絵が照らし出されます。絵が立体的に見えるよう、墨と鮮やかな色を塗り分ける熟練した職人の技を見ることができます。

3、灯りの花道

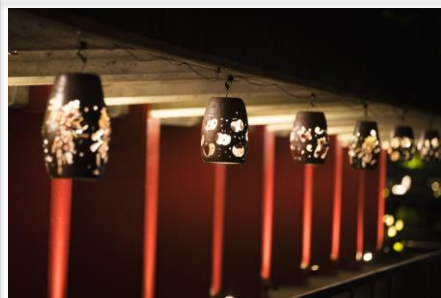
伝統工芸品「津軽金山焼(つがるかなやまやき)」を採用しました。釉薬(ゆうやく)を使わず、高温でじっくり焼き上げる「焼締め」という技法が特徴です。照明の形や柄は、りんご、ねぶた、伝統工芸品「八幡馬(やわたうま)」などの青森にちなんだオリジナルデザインです。

「春のきろかる散歩」概要

■期間：2018年4月6日～5月31日 ■料金：参加無料 ■時間：17:00～22:00

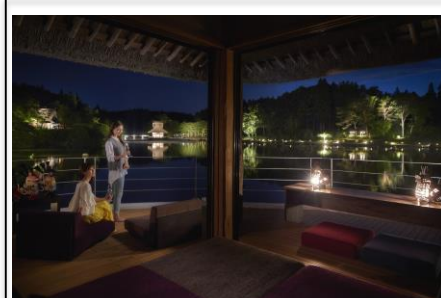
※天候により、一部プログラムが中止になる場合がございます。

※：青森の方言できろきろの意味



灯りの花道

皿や、花瓶などで親しまれている伝統工芸品「津軽金山焼」。照明からこぼれる光が、重厚で独特の色合いを引き立たせます。



八幡馬 ラウンジ

■料金

2,000円
(税・サ込)

■時間

10:00～22:00

春限定 花より団子馬車

馬車には、もんぺ娘に手ぬぐいを被ったもんぺ娘が郷土のおやつ「じゅね餅」を届けます。炉端で炙って食べながら、木々や花が芽吹く公園を馬車で巡ることができます。



■期間:

2018年4月7日～5月31日

■時間:

9:00/9:30/10:00/10:30

■定員: 各時間8名まで

■対象: 宿泊者限定

■予約: 要予約 (前日18:00まで)

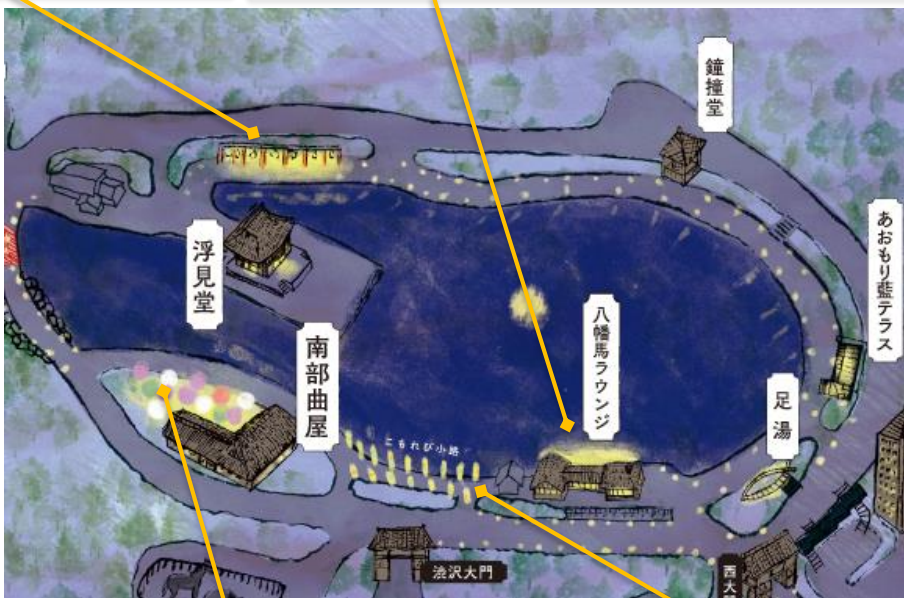
■料金: 大人 1,200円

小学生 1,000円

未就学児 700円

(税・サ込)

*天候や馬の体調により中止になる場合がございます。



春限定 和傘の花道

りんごの花が描かれた和傘をライトアップ。揺らめく和の灯りに心もほっこり和みます。



春限定 ねぶたの花道

勇ましい武士の絵や可憐な女性の絵、そして花の絵など色鮮やかな灯籠が並びます。



星野リゾート 青森屋

「のれそれ (*青森の方言で目一杯の意味) 青森～ひとものがたり」をコンセプトに、青森の祭りや方言などの文化を満喫できる「青森文化のテーマパーク」。約22万坪の敷地内には、池や古民家の点在する公園もあり、食事や多彩なアクティビティを楽しむことができる。

電話 : 0570-073-022(星野リゾート予約センター)

住所 : 青森県三沢市宇古間木山56

アクセス: 青い森鉄道三沢駅より徒歩10分(無料送迎バスあり)

三沢空港・青森空港・JR八戸駅・JR新青森駅より無料送迎バスあり(要予約)

客室数 : 236室 チェックイン 15:00/チェックアウト 12:00

宿泊料金: 2名1室 1泊2食付1人あたり 16,000円～(税・サ込)

HP : <http://noresoreaomoriya.jp>



本リリースに関する報道関係からのお問合せ先 星野リゾート グループ広報

TEL : 03-5159-6323 FAX : 03-6368-6853 E-mail : pr-info@hoshinoresort.com